

土砂災害から命と財産を守る

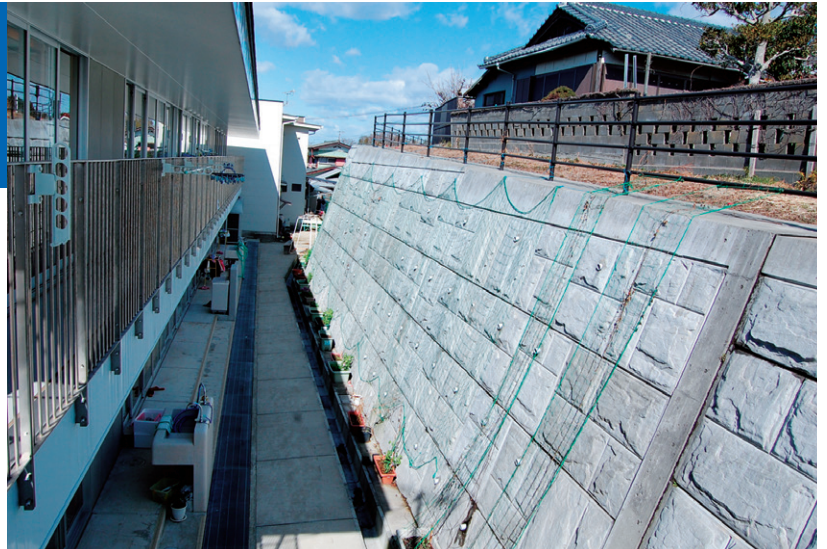
— 土砂災害防止施設の整備による安全安心 —

土砂災害防止施設の整備により、災害から人命と財産を保全し、地域の防災に寄与する。

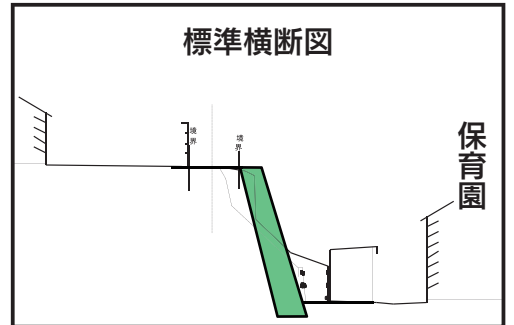
◆土砂災害防止施設の整備により、約11,000人の人命が守られ、約1,100億円の資産が保全されました。

これまで373箇所の土砂災害防止施設が整備され、約11,000人*の人命と約3,700戸*の人家、約1,100億円*分の資産が土砂災害から守られました。

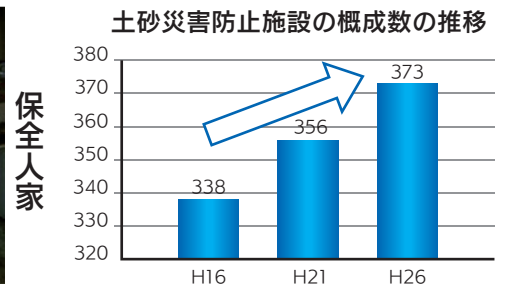
*1箇所当たり保全人家10戸、1戸当たり3人が居住、1戸当たりの資産を3千万円と想定して試算。



完成した土砂災害防止施設と保育園



自ら避難することが困難な園児や、保全人家の多い箇所を土砂災害から守ることにより、安心して暮らせる住環境を提供



▲災害を気にすることなくのびのびと遊ぶ園児たち

今後園児たちには、災害を気にすることなく「知「情」「体」を育みながら、のびのびと校舎内でそして園庭で遊ぶのはよいものです。

大雨が降るたび、土砂崩れの心配ばかりしていました。急な崖だっただけに、パラパラと土が落ちてきて、園児たちが安心して遊べる状況ではなく、子供たちを預かる立場としては気が気ではありませんでした。整備される前は「やぶ蚊」や「へび」にも悩まされていました。が、今ではそれもなくなりました。土砂災害防止用の壁ができて感謝しています。災害の時の「避難経路」も確保でき、心強い限りです。



社会福祉法人 敬朋福祉会
堀川保育園 理事長
堀川 忠嗣氏

災害を気にすることなくのびのびと